

納期相談 コスト相談 マイインジャパン 試作可小ロット



組み合わせ加工が得意な同社。「職人脳」を持つ社員達が、発想力でシンプルに創造する

株式会社 三栄製作所

## 選ばれる機械部品加工技術 多品種小ロット、短納期の 対応力でベストを生み出す

難しいことをシンプルに。  
技術力に裏打ちされた発想力



平成20年に新築された社屋。ポップで斬新な赤いラインが、同社の勢いを表している

「昭和30年の創業以来、ものづくり現場の片隅で生き続けてきた町工場。『何でもお応えできます』と断言できるほどの会社ではありません」と語る田中社長。とはいえ、平成10年には港区に、平成20年には現在の大正区へと移転したのは、業務拡張のため。謙遜する言葉とは裏腹に、一部上場企業からの数々の受注実績を誇る。いわば、生き残ってきた町工場である同社の魅力とは、一体どこにあるのだろうか。

同社が手掛けるのは、マシニングセンター、汎用基盤、NC基盤を中心とした機械部品加工。顧客は自動車設備メーカーを中心に、粉体機械、衛生用品製造、建設機械メーカー等幅広い。どれも量産品ではなく、一品ものおよび小ロット製品だ。依頼に対し、難しいものをよりシンプルに加工することがモットー。難しいものを使えば簡単なこと。だが、時間もかかればコストもかかる。できるだけシンプルに

考え、組み合わせる。そんな提案こそが、顧客にとってプラスになるはず、という考えだ。

それは例えば、最新機械を駆使して3次元加工を施すのではなく、ジグを用いて傾きを造る等、2次元加工で3次元に近づけるといった技術力と発想力。これこそが、同社の最大の強みだ。翌日発送という超短納期を可能にした対応力も、多くの顧客から選ばれている理由だろう。

### めざすべき姿は

### 「モノをつくるサービス企業」

「モノをつくるサービス企業」そう断言する三栄製作所。依頼通りのものをつくるのは当然のこと。そこにプラスαの価値が必要だ。その価値とは、「安心」「満足」。「シンプルにこだわること」「こうすれば安く良いものが造れるという情報提供もその一環といえる。「実は、あんたらのお陰」と、言われる存在でありたい」と話す田中社長の言葉には、カタチには見えないソフト面のサービスを何より大切にしている企業姿勢が窺える。

「技を極めるのではなく、アイデアや発想力を養うこと。それが、同社が考える『職人脳』だ。だからこそ、今後最新の機械を導入することがあるとすれば、それは複雑なものづくりをするためではない。あくまで、顧客のため。コスト削減に繋がるならば……という発想だ。」

「最先端の機械を使い、最先端の仕事をしようとは思っていない。そんな田中社長の姿勢に、一流企業が信頼を寄せる理由が垣間見える。これからも、あんたのお陰や」と喜ぶ企業が増え続けるに違いない。

### Company Profile

#### 株式会社三栄製作所

大阪22

住所 〒551-0031  
大阪市大正区泉尾6-5-68  
TEL 06-6556-3530  
FAX 06-6556-3722  
創業 昭和30年1月  
資本金 1,000万円  
従業員 16名  
代表取締役 田中 俊次

■主な事業内容  
マシニングセンター・汎用基盤・NC基盤を中心とした機械部品加工

■主な取引先  
自動車設備メーカー、粉体機械メーカー、衛生用品製造メーカー、建設機械メーカー等

<http://www.san-ei-seisakusho.jp>

他社には  
負けない

当社のもづくり  
セールスポイント

持ち味、強みを強化し  
さらなる発展をめざします

代表取締役 田中俊次 さん



「モノをつくるサービス業」という想いをもって、常にお客様に対していかに喜んでいただけるか、発注して良かったと思っていただけるよう努めています。QCDのレベル厳守は当然のこと。「助かったよ」と言ってもらえるような仕事への取り組みを、社員一同意識しています。